



ジェネリック医薬品を処方して もらうには？

まずは医師または薬剤師にご相談ください

ジェネリック医薬品の供給について



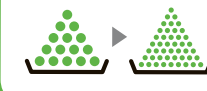
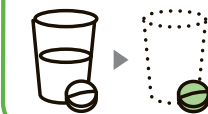
現在一部のジェネリック医薬品におきまして、供給不足や欠品が生じており、切り替えを希望されても難しい場合があります。切り替えを希望される方は、医療機関や薬局とよくご相談ください。



※ジェネリック医薬品と先発医薬品の主成分は同じですが、添加剤等の違いにより副作用等に個人差がでる場合もあります。
※医師が患者さんの体質・病状などからジェネリック医薬品への変更が適切でないと判断したときなど、変更できない場合があります。



もっと飲みやすく、手軽に

<p>苦みをコーティング</p> 	<p>小型化</p> 	<p>ザラつき感を抑える</p> 	<p>水なしでも飲める</p> 
<p>マスキング技術で飲みやすく。</p>	<p>成分は同じで。</p>	<p>粒子を小さく。</p>	<p>OD錠 (口腔内崩壊錠)に。</p>

ジェネリック医薬品は患者さんや医療関係者の声を活かし、先発医薬品より飲みやすく工夫されているものもあります。

この「お知らせ」に関するお問合せは、サポートデスクへ

お問合せ番号をお控えのうえお電話ください。

0120-350-092

FAX **0120-659-729**

受付時間 8:30~17:15(土・日・祝日を含む)

- お問合せには「お問合せ番号」が必要です。同封の「お知らせ」をお手元にご用意ください。
- 今後「お知らせ」が不要の方は、お手数ですが左記の番号に電話またはFAXにてご連絡ください。
- FAXによる不要連絡は「お知らせ」のあて名が印字された面の余白に「通知不要」とご記入のうえお送りください。



ジェネリック医薬品

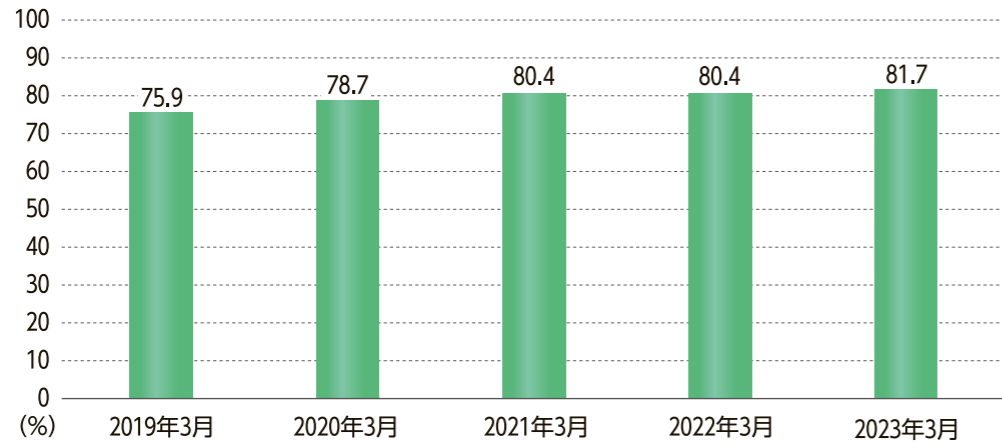
同等の効果で、負担は軽く。 今と未来を笑顔に。



1

全国で8割程度使用されています

協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合の推移



高血圧や高脂血症、糖尿病などの生活習慣病をはじめ、身近な疾病でもあるアレルギー性疾患（花粉症など）や感冒（かぜ）などにもジェネリック医薬品が普及しています。

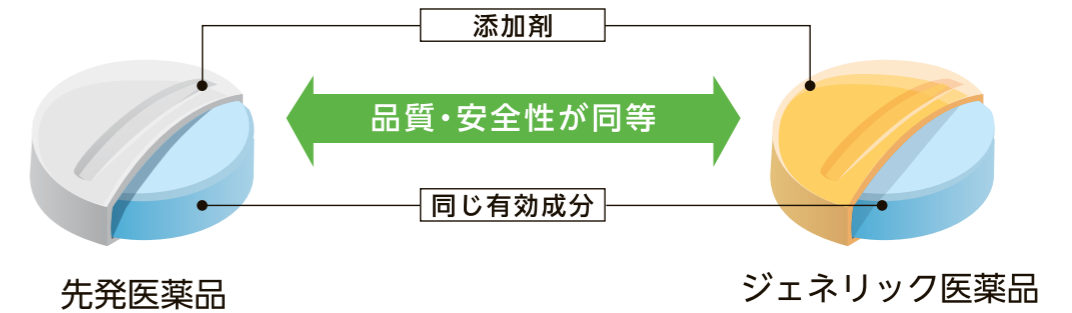


同等の効果で、負担は軽く。
今と未来を笑顔に。



3

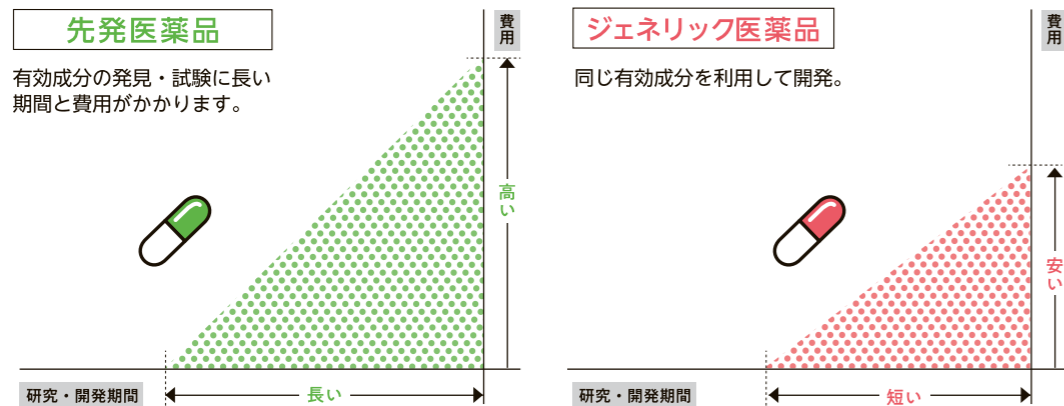
医薬品の効き目は同等です



ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同じ有効成分を同量含んでいます。また、国の審査によって、品質、安全性が認められています。

2

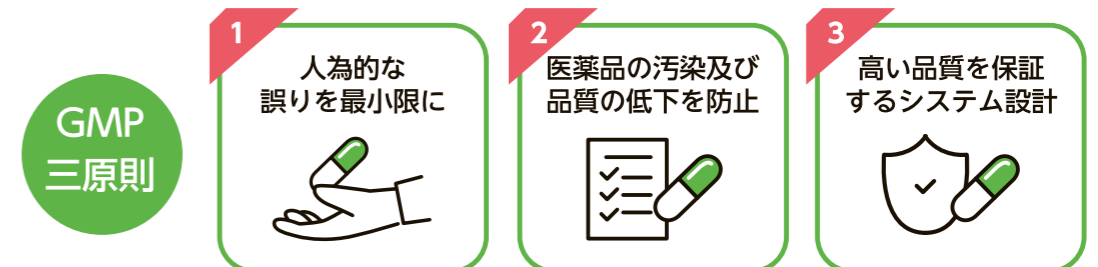
先発医薬品の有効成分を利用して開発するため、お薬の価格がおさえられます。



先発医薬品は長い歳月と数百億円以上といわれる費用をかけて研究開発されます。ジェネリック医薬品は先発医薬品の特許期間を過ぎたあと同じ有効成分を利用して研究開発されるため、その分研究開発期間やコストを大幅に抑えることができ、お薬の価格も抑えられます。

4

厳しい基準は全てクリアしています



医薬品を作るときの製造管理、品質管理に関する厳しい基準であるGMP[®]があります。ジェネリック医薬品は、先発医薬品と同様に、GMPの基準を満たしたうえで製造されています。
※GMP (Good Manufacturing Practice)